

平成18年度 施策評価表

所属 28140000
教育委員会 生涯学習課

施策	1962 学習活動支援							
区分								
対象	全区民							
施策意図	多様な情報や機会を得て、自主的に学習活動を行っている。							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化、科学技術の進展、少子高齢社会の進行による区民のライフスタイルの変化などを背景に、生涯を通じた学習活動の促進が求められている。 ・生きがいのみならず、まちづくりや地域課題の解決のためには、区民の学習活動を支援していく必要がある。 							
成果指標	成果指標1：学習や習い事をしている区民の割合（マーケティング調査）							
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度				
		実績	26.00	25.90				
	成果指標2 []	予定						
		実績	30.40					
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定		1,291,159				
		実績	1,393,024					
	施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働。行政が区民の学習活動を支援することが基本だが、今後の学習ニーズの増大等に応じていくためには、NPOや教育機関との協働を進める必要がある。					
		区民ニーズへの貢献	大きい。幅広い年齢層の区民が学習活動を行うことができるように、その目的に応じ、情報の提供、相談、学習の場や機会の提供など様々な支援を行っている。					
成果向上の必要性		向上必要。少子高齢社会の進行等により、生涯学習へのニーズは益々高まっている。その内容も個別化・多様化・高度化し、これに応えるべく施策を推進する必要がある。						
成果向上の容易性		容易ではない。区民の学習活動支援策として、区はこれまでも様々な施策を講じてきたが、限られた財源の中では民間事業者などとの協働を推進する必要がある。						
位置付け総合評価	継続。区は、区民の自主的、主体的な学習活動を支援していく必要がある。また、公的な視点から行う啓発活動、地域における課題の解決につながる事業、様々な公的活動を担う人材を育成するための講座などを実施し、NPOや教育機関等との協働も推進していかなければならない。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	196209	維持管理（郷土と天文の博物館）				221,729	6	
	196220	地域教育機関連携公開講座				2,126	6	
	196202	出前教室				4,460	5	
	196203	社会教育委員				2,519	5	
	196206	維持管理（社会教育館）				293,193	5	
	196208	学習相談・学習情報の提供				34,960	5	
	196212	天文学調査・講座				4,908	5	
	196216	ボランティア活動支援事業（郷土と天文の博物館）				2,898	5	
	196217	子どものための博物館講座				3,968	5	
196218	寄贈・収集資料整理				6,676	5		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

平成18年度 施策評価表

所属 28140000
教育委員会 生涯学習課

施策	1962 学習活動支援			
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	総合評価
	196222	教育資料館管理運営	3,997	5
	196201	学校施設等開放	663,537	4
	196204	生涯学習人材バンク	964	4
	196205	講師派遣(生涯学習援助制度)	3,811	4
	196207	館まつり(社会教育館)	10,232	4
	196210	館だより等発行(郷土と天文の博物館)	6,179	4
	196211	プラネタリウム番組制作	35,216	4
	196213	考古学調査・講座	18,156	4
	196214	民俗学調査・講座	8,558	4
	196215	歴史学調査・講座	8,125	4
	196219	特別展・企画展等展示	25,157	4
	196221	成人対象講座	31,655	4
	施策 目的 達成 のため の 事務 事業			

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 28140000

施 策 1962

教育委員会 生涯学習課

学習活動支援

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		1,000		
		都道府県支出金	(2)		1,660		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		15,635		
		一般財源	(5)		1,086,411		
	直接費	事業費	(6)		383,612		
	職員人件費	人件費	(7)		658,734		
		再雇用職員分	(8)		46,440		
		(職員数：賦課)	(9)		84.92		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		84.92		
	調整額	間接費	(12)		16,188		
		(加算)減価償却費	(13)		90,400		
		(加算)金利	(14)		33,847		
		(加算)退職給与引当	(15)		61,938		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			186,185		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			1,291,159		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	1,000			
		都道府県支出金	(21)	1,580			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	16,118			
		一般財源	(24)	1,173,337			
	直接費	事業費	(25)	378,926			
	職員人件費	人件費	(26)	752,045			
		再雇用職員分	(27)	42,560			
		(職員数：賦課)	(28)	105.35			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	105.35			
	調整額	間接費	(31)	18,504			
		(加算)減価償却費	(32)	90,400			
		(加算)金利	(33)	39,714			
		(加算)退職給与引当	(34)	70,875			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	200,989				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,393,024				

施策名	学習活動支援
-----	--------

担当課： 生涯学習課

施策の達成状況

【達成度評価】
各種講座は、各々に工夫をこらし、順調に実施された。 プラネタリウムについては、システム更新の設計を完了し、18年4月以降制作に着手する。

構成事務事業の施策成果貢献度

(事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

大	維持管理(社会教育館)/館まつり(社会教育館)/学習相談・学習情報の提供/維持管理(郷土と天文の博物館)/館だより等発行(郷土と天文の博物館)/天文学調査・講座/考古学調査・講座/成人対象講座	生涯学習人材バンク 講師派遣(生涯学習援助制度) プラネタリウム番組制作 特別展・企画展等展示 地域教育機関連携公開講座 ボランティア活動支援事業(郷土と天文の博物館)	
	学校施設等開放 出前教室 民俗学調査・講座 歴史学調査・講座 子どものための博物館講座 寄贈・収集資料整理 教育資料館管理運営	社会教育委員	
中			
小			
	小	中	大
施策成果への貢献度			

構成事務事業の次年度方向性

(事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

向上	館まつり(社会教育館) 特別展・企画展等展示 館だより等発行(郷土と天文の博物館)	社会教育委員 講師派遣(生涯学習援助制度) 維持管理(郷土と天文の博物館)	地域教育機関連携公開講座 プラネタリウム番組制作 新プラネタリウムシステム製作委託
	学校施設等開放 維持管理(社会教育館) 民俗学調査・講座 歴史学調査・講座	出前教室/生涯学習人材バンク/学習相談・学習情報の提供/天文学調査・講座/考古学調査・講座/ボランティア活動支援事業(郷土と天文の博物館)/子どものための博物館講座/寄贈・収集資料整理/成人対象講座/教育資料館管理運営	
維持			
減少			
	減少	維持	増加
事務事業のコストの増減			

【次年度方向性の考え方】
葛飾区公共施設見直し推進計画の内容を踏まえ、今後の生涯学習と地域活動の充実を図るための生涯学習推進体制を構築し、実施する。また、リニューアルしたプラネタリウムの番組・性能を内外に知らせることにより、観覧者の増大を図る。